

I 研修目標

日常診療、救急診療における、整形外科的診断と治療の基本を理解し、身につける。

II 研修期間

1～2 カ月間。

III 研修方法

病棟では、入院患者の診療を主治医と共に受け持つ。

外傷での来院患者や、救急外来での運動器疾患の初診診察・処置を行う。

手術に助手として参加する。

IV 主な研修内容

問診および診察

患者や家族とのコミュニケーション、病歴聴取、記録。

外傷の愛護的診察、関節の診察、神経学的所見、徒手筋力検査など。

検体検査

検体の取り扱い、オーダーの方法、結果の評価。

画像検査

X線単純写真の適切な指示、読影、診断。

CT、MRI、超音波、骨密度検査などの理解、オーダー、読影。

滅菌、消毒、清潔の理解・実践

手術での手洗いや縫合処置などで、清潔と不潔の区別、清潔操作ができる。

薬物治療

整形外科でよく使用する薬剤について理解し、処方できる。

装具療法

装具の種類、目的、使用方法など。

リハビリテーション

主に入院患者のリハビリのオーダーをできるようにする。リハビリテーションを実際に見て理解する。

外傷一般

骨折、脱臼、肘内障、捻挫、腱断裂、挫創などの初期治療。

局所麻酔、創の縫合、関節穿刺、腰椎穿刺、包帯法、ギプス包帯、シーネ固定など。

頻度の高い運動器疾患

腰痛、膝痛などの診察。

腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、変形性膝関節症、骨粗鬆症、腱鞘炎など。

(診断、治療を経験し、説明できるようにする。)

V 指導医

氏名	卒業年	専門領域	認定医・専門医・指導医等
伊藤 仁	平成4年	整形外科一般、外傷	日本整形外科学会専門医